

令和5年度「授業時数の弾力化に係るモデル校事業」に参加します

本校は、県の研究委託を受け、令和5年度に「授業時数特例校」として「授業時数の弾力化に係るモデル校事業」に参加します。本事業は、教科ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による特別な教育課程を編成し、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の学習内容を充実させ、より効果的な教育を開発・実践するものです。

令和5年度は、第2学年保健体育の年間総時間数を5時間減じ、技術・家庭科の年間総時間数を5時間増やす中で、県立新座総合技術高等学校と連携し、マイクロコンピュータ（arduino）を用いた機械制御システムのプログラムの制作等を行います。技術・家庭科の技術分野「情報の技術」においては、「生活や社会における問題を、計測・制御のプログラミングによって解決する活動」を行うこととなっていますが、本事業により学習内容をさらに充実させることで、プログラミング的思考力等を高めるとともに、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けた問題解決能力を育成します。

なお、令和4年度は、授業時数の配分の変更は行いませんが、技術科の授業における新座技術高等学校との連携及びマイクロコンピュータを用いたプログラムの制作等については、一部先行して実施します。